

2019年6月28日

会 社 名 株式会社 オプトホールディング  
代 表 者 名 代表取締役社長 鉢 嶺 登  
(コード番号 2389 東証第一部)  
電 話 0 3 - 5 7 4 5 - 3 6 1 1

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、社是として「一人一人が社長」を掲げ、社員一人一人が「自ら、決断し、実行し、巻き込み、やり遂げる」という“オプティズム”を掲げており、「成長に挑戦する企業と人を応援し、次代を切り拓くイノベーションを生み出し、未来の世界への繁栄エンジンとなる」ことをミッションとしております。マーケティング事業を中核に、インターネット時代の大きなチャンスに果敢に挑戦し、次々と新サービスを生み出し、次代の人類の繁栄への貢献を目指しております。

その実現のためにコーポレートガバナンスの充実是不可欠であり、コーポレートガバナンスに関する基本方針及び報告書を制定し、取締役会の役割・責務等を規定するとともに、取締役会の実効性を分析・評価し、その結果について概要を開示することとしております。この度、取締役会について実効性評価を実施いたしましたので、以下のとおりその概要を報告いたします。

### 1. 評価方法・プロセス

取締役会の実効性評価については、グローバル組織コンサルティングファームによる第三者評価を実施しております。その実効性評価方法は以下のとおりであり、これらに基づき現状分析を行い、改善点と今後の方向性を提示いたします。

- ・取締役会・各委員会の開催・運営状況等の確認
- ・取締役会の構成・プロセス、機能・運営、文化・ダイナミクス、指名・サクセッション、実施状況、役割定義、各委員会の実施状況等の確認
- ・全ての取締役（監査等委員取締役を含む、計8名）に対するインタビューの実施
- ・実施時期：2019年5月～6月

### 2. 評価結果の概要

当社の取締役会は、知識、専門性、経験等を備えた取締役の下で経営管理体制が整えられており、取締役会で闊達な議論が行われることにより、監督機能が果たされている。また、株主に対するコミュニケーションを効果的に行っている。

一方、取締役会は戦略的役割を担うため、取締役会を機能させる形式面での整備を順次継続し、戦略的議論の質、量をより充実させることが求められるとともに、取締役のサクセッションについても準備を検討すべきである。

### **3. 評価結果等を踏まえた取り組み**

2019 年 4 月より、グループ統一職務権限規程及びグループ執行役員体制を導入し、これにより執行はグループ執行役員会が担い、グループ全体の戦略的な意思決定や監査機能は取締役会が担う体制に移行しております。取締役会は、グループ経営戦略や資産の配分、経営モニタリング等に注力することで、グループ経営の強化に向けた最適な事業運営体制を構築いたします。

今後は、グループ執行役員体制を本格稼働させるとともに、取締役会で事業運用の実態や成果を定期的にレビューし、必要な修正・改善を加えることにより取締役会の実効性を高め、より戦略的な取締役会へ発展させていきます。またその中で、取締役会構成の多様化の検討や取締役のサクセッションの準備を進め、コーポレートガバナンスのより一層の強化に努めてまいります。

以上